

Lend a Hand  
手を貸そう国際ロータリー第2750地区多摩東グループ  
東京多摩グリーンロータリー・クラブ

## Weekly Report



クラブ会長テーマ 手を貸そう! そして強く握ろう!

2003-10-1 第623回例会 NO.14-12 2003-10-15 発行

◎司会 SAA委員会 根本 泰守

◎点鐘 会長 大松 誠二

◎国歌斉唱/ロータリーソング「奉仕の理想」  
ソングリーダー 吉沢 洋景◎お客様紹介 会長 大松 誠二  
・岡山西南RC 椎原 裕二様

◎会務報告 会長 大松 誠二

・9月25～26日に開催された日韓親善会議に藤本幹事と共に出席しました。9年振りの第7回会議でしたが、日韓両国から延 1950名が参加、熱気と共に和気藹々とした有意義な催しでした。クラブでは韓国から米山奨学生の金さんをホストしていますが、日韓関係が近くて遠い国から近くて近い国へと変われば素晴らしいことと思います。

・11月30日からパルテノン多摩市民ギャラリーで開催の多摩市障害者美術作品展の協賛金として10,000円を決定しました。

・特別事業「特養ホーム白楽荘慰問プロジェクト」に対し、ロータリー財団地区補助金申請が承認され、補助金\$3,500(約40万円)が決定しました。地区R財団補助金委員伊澤会員、ご協力ありがとうございました。

・前回例会の理事会報告議案4の出席免除適用規定は、いずれも定款8条第2節(a)に依る、と訂正します。

◎幹事報告 幹事 藤本 吉文

・多摩東グループ高木ガバナー補佐より野球大会結果報告が届きました。我がチームが惜敗した東京調布むらさきRCが優勝したとのこと。決算報告も届きました。

・地区より、2500地区道下俊一パストガバナーが昨夜のNHK「プロジェクトX・霧の岬 命の診療所 半世紀の戦い」に出演の案内がありました。再放送は10月5日(日)10:05とのこと。

・後程、ゴルフ同好会菊池会員より、第1回3クラブ合同チャリティゴルフコンペ開催実施要領の説明があります。

・来週10月8日の例会は1Mに振替、12時30分登録開始ですのでお忘れなく。

## 【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 小林 正

・会員総数 43名  
・出席義務者数 42名(出席免除者3名)  
・出席者数 34名  
・欠席者数 8名(事前MU1名)  
・出席率 80.95%

・欠席者:藤原 正範、萩生田政由、平野 行廣、伊藤 英也、小泉 博、佐伯 和廣、関岡 俊二、高野 範城

・補填MU:関岡 俊二 9/24 地区職業奉仕委員会

9/17 最終訂正出席率 76.19%

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 加藤喜三郎

大松 誠二 R財団地区補助金を頂けることになりました。伊澤さん、ご尽力有難うございました。

藤本 吉文 伊澤さん、おめでとうございます。ホールインワンのおし方教えてください。

伊澤ケイ子 9/28素敵なお褒美をもらいました。これからも楽しいゴルフをしたいと思います。又、今日は誕生日です。

遠藤 二郎 9/28東京国際CC16番ホールで伊澤ケイ子さんがホールインワン達成!オメデトウ。ピンに向かってまっすぐのスバラシイボールでした。4月1日の出来事ではありません。念の為。

小田 泰機 多摩ニュータウンタイムズの10月1日号に公証役場の広告をしました。これで依頼者が増えればV

宮本 誠 杉野さん、お世話になりました。お陰で少しは楽です。

村上 久 8月末決算黒字でしたので。

赤尾 恭雄 今日クラブ創立当時の例会を思い出しています。

東京多摩グリーンロータリー・クラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号  
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491  
E-mail tamagro@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会長】大松誠二 【幹事】藤本吉文

【クラブ会報委員長】赤尾恭雄 【副委員長】正房正孝

【委員】遠藤二郎・平野行廣・佐伯和廣・澄川昇・高木淳光・由井眞司・小田泰機

- 北村 幸彦 伊澤ケイ子さん、なんとホールインワンとの事、おめでとうございます。
- 小林 正 本日は宴会場が全て使われてしまい、皆様に移動して頂き申し訳ございません。
- 津守 弘範 移動例会を祝して
- 足立潤三郎 伊澤ケイ子さん、ホールインワンおめでとうございます。美酒に酔いたい。
- 阿部 華歌 伊澤さん、ホールインワンだそうですね。すごいね!!おめでとうございます。
- 加藤喜三郎 伊澤さん、おめでとうございます。これからが大変ですね。

**本日の合計 ¥ 23, 000 (累計 ¥ 295, 357)**

◎その他委員会報告

- ・国際奉仕委員会 **委員長 吉沢 洋景**  
国際ロータリー2004年国際大会の登録案内  
(詳細は配付資料参照)
- ・特別事業実行委員会 **委員長 吉沢 洋景**  
特別事業への参加意思表示の要請
- ・JGFRホスト実行委員会 **委員長 海野 栄一**  
第17回JGFR東京大会当日の役割分担について
- ・特別事業実行委員会 **副委員長 宮村 宏**  
Aグループ(障害者テニススクール)委員会を例会後開催。その他当事業の広報活動進捗状況について
- ・ゴルフ同好会 **菊池 敏**  
第1回3クラブ合同チャリティゴルフコンペ開催要領について(配付資料参照)  
※同時に 澄川 昇会員より会計報告

◎卓話

**R財団について**

**ロータリー財団委員会 委員長 宮本 誠**



R財団寄付体系及び財政・管理状況並びに寄付要請について説明のうえ、本年度地区補助金の交付を受ける当クラブの対応を強調(配付資料参照)

**広く、薄く、消費税のように・・・**

**米山奨学委員会 委員長 小城 章員**



米山記念奨学会の存立意義と寄付体系・表彰制度について説明、甲府RC会員高野孫左エ衛門氏の言葉を引用し、奨学生に顔の見える本制度へ薄く広く協力を要請(配付資料参照)

◎点鐘

**会長 大松 誠二**

(例会担当: 赤尾 恭雄)

**ポール・ハリスを我々の心に! Part 7**

兄セシルは自分の役割を見つけた。それは祖父の家で家族にも等しい老牛バターカップの牛追いでした。セシルは独特の足取りで、老牛バターカップを牧場へ追って行くことを日課にしていた。ポールは兄セシルの勇猛な性格を尊敬していたが、或る夏のこと、ポールはくちやく



ちやくの帽子を被っていた兄セシルの顔を殴り怪我をさせたことがあった。セシルは悔しさのあまり両眼に涙をためていたが殴り返すことはしなかった。ポールにとっては、この時のことが後々まで心の痛むことだった。

兄セシルは、次第に牛追いの仕事にポールを引き入れた。初めてバターカップを牧場へ連れて行った日には近所の牛との喧嘩で一騒動あったりしたが、次第に牛が可愛く思えるようになり、牛は少年時代の思い出としてポールの心の安らぎとなった。

バターカップは乳牛より肉牛として有名な英国産のヘレフォード種であったが、家族に素晴らしい牛乳を供給してくれていた。バターカップが仔牛を産んで乳を出し始めると、泡立っているコクのあるミルクが大バケツに二杯も取れた。祖父は朝晩必ず忠実なバターカップのところへコーンミールを一杯持って行って、引き換えに搾れるだけのミルクを貰ってきた。

家のしきたりで祖父も乳搾りをしたが、片手しか使えずあまり上手ではなかった。上手な人がやるように、額を牛の横腹に埋めることができず、一本足の椅子に腰掛けバランスをとりながら左手でバケツを押さえていた。バターカップは尻尾をひゅうひゅうと動かし、振られた尻尾は時々祖父の首に巻き付いた。そんなことは始めから分かっているのに祖父は腹を立てていたが、セシルとポールにとっては滑稽だった。

(コーナー担当: 赤尾 恭雄)

**「ロータリーの友」拾い読みコーナー**

国際ロータリー理事会の決定事項の抄録より

2003年7月会合

**\*プログラムおよびコミュニケーションに関する事項**

マジアベ会長が家族の重要性を主眼にしたことを称え、理事会は12月を「家族月間」と指定し、2月の第2週の「家族週間」を廃止しました。

**\*財務に関する事項**

理事会は、ロータリー財団の2003-2004年度予算米貨5,240万ドル(60億7,840万円)を承認した。これは財団のすべてのプログラムに対するもので、その支出は、使途を指定しない年次プログラム基金から充当されます。

2003年5月の理事会において採択された2003-2004年度の国際ロータリー予算が確認されました。2003年5月および7月の両理事会の決議事項を考慮にいれると、2003-2004年度の国際ロータリーの全支出は、米貨7,460万ドル(86億5,360万円)となります。(コーナー担当: 正房 正孝・高木 淳光)